

グリーンカーテンはじめてみませんか？

地球に優しく、夏を涼しく、それがグリーンカーテンです。

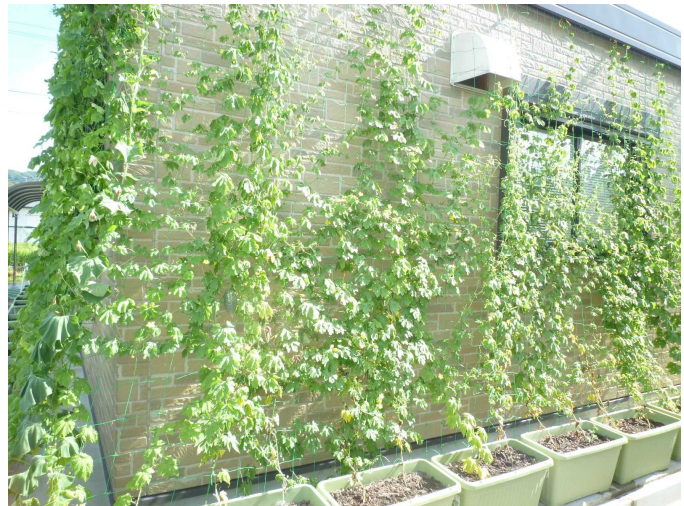
和歌山県庁 環境生活総務課

グリーンカーテン事業の目的

和歌山県では、未来を担う子供たちに地球環境問題を身近な問題として考えてもらい、環境を大切に作る心を育ててもらうための取組として、グリーンカーテン事業を行っています。

グリーンカーテンとは

ゴーヤやヘチマ、ヒョウタン、アサガオなどのつる性の植物を育て、ネット一面にはわせることによってできる植物のカーテンのことです。



グリーンカーテンの効果



① 窓からの日射を遮ります。

窓から差し込んでくる日射は、とても大きな熱エネルギーを持っています。十分に葉が茂ったグリーンカーテンなら、日射の熱エネルギーの8割以上をシャットアウトできます。断熱ガラスを使っても4割の熱が通過していくことを考えれば、グリーンカーテンがいかに効率的か分かります。

② 周りの物体の表面温度の上昇を抑えます。

部屋の外壁や窓付近の地面が日射を受けて表面温度が上昇すると、室温が上がるのに加え、放射熱により体感温度が上がり、室温以上に暑く感じます。そのため、グリーンカーテンは、窓だけでなく壁や地面を覆うように大きく育てることがポイントになります。

③ 蒸散作用で周囲を冷やします。

植物は、成長するためにたくさんの水分を吸収します。吸収された水分の大部分は、葉っぱから蒸発していきます。これを蒸散と呼びます。水分が蒸発するときには、周りから熱を奪うので葉の温度上昇が抑えられます。そのためグリーンカーテンはいつもひんやりしています。

範囲について 最大で3.6m、教室の窓を覆う範囲（ネット2枚分）

配布物品について

深型プランター ネット ゴーヤ・パッションフルーツ・きゅうり・アサガオ
用土（肥料入り） 底石 肥料

※プランターを追加する場合、必ず深型を購入して下さい。（プランターが浅いとゴーヤが大きく育ちません）

実施時期（苗の植え）について 5月下旬から6月上旬

望ましい設置場所の条件

- ・ 日当たりと風通しが良い場所
- ・ 窓のある西向きの壁面（省エネ効果が最も期待できます。）
- ・ 水やりが必要なため、水やり場が近くにあること ※水やりがとっても重要です。
- ・ 近づきやすい場所（育つ様子が観察できます。）

【苗植えのポイント】

1. まず、プランターに底石を3cmの高さくらい入れます。
2. 次に用土をプランターに入れます。この時、プランターの端を軽くたたきながら入れるとうまく入ります。（水やりの時、土が流れ出さないように、用土はプランターの上から2cmほど低めに入れます。）
3. プランターの土に穴を掘ります。（苗ポットより少し大きめの穴）
4. 苗を植えます。（苗が風や雨で倒れないように苗の根本の土を軽く押さえます。）
5. 水がプランターの下から流れるくらい、たっぷりとジョウロで水をあげます。

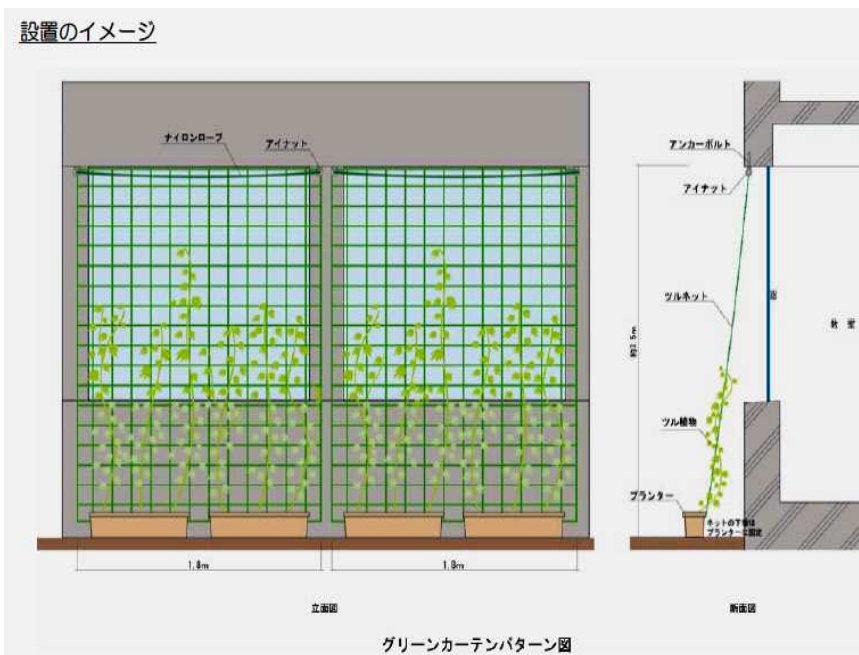


【ネット設置作業のポイント】

1. 壁面にドリルで穴をあけアンカーボルト、アイナットを設置する。
（ロープやネットの抜け落ちを防止するなど、安全を確保するため。）
2. ロープをアイナットに固定する。
3. ロープにネットを固定する。
4. ネットの下端をプランターの穴に針金で設置する。

※後日、報告書の御提出をお願いいたします。

設置のイメージ

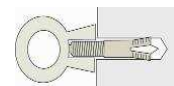


ネット設置作業について

校舎の壁面に小さな穴をあける



ボルトを固定する



ロープを固定する



ロープにネットを固定する

